

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察注意報について

令和 7 年度病害虫発生予察注意報第 5 号を発表したので送付します。

令和 7 年度 病害虫 発生 予 察 注 意 報 第 5 号

- 1 作物名 マンゴー
- 2 病害名 ハダニ類 (マンゴーツメハダニ、シュレイツメハダニ)
- 3 発生地域 宮古島

4 注意報発令の根拠

宮古島における 10 月第 4 週のほ場調査の結果、ハダニ類の発生ほ場率は 100% (平年値 : 34.0%)、葉当たり雌成虫数は 3.8 頭 (平年値 0.6 頭) と平年と比較して多発していた (図 1)。発生種は、マンゴーツメハダニ (%) およびシュレイツメハダニ (%) であった。

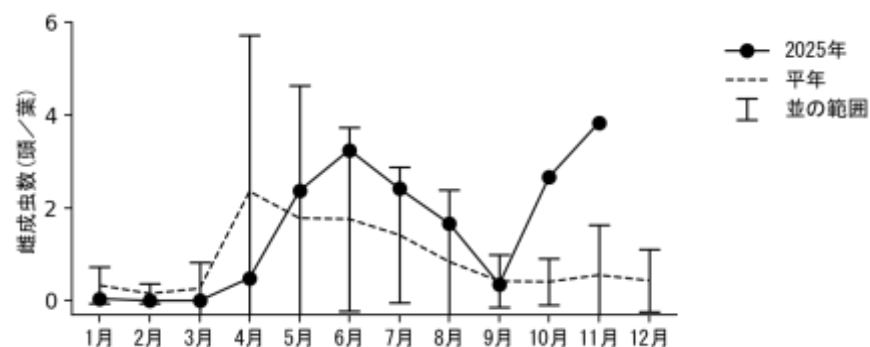


図 1 ハダニ類 発生の推移

5 発生生態および被害

(1) マンゴーツメハダニ

- a) 雌成虫は体長 0.4 mm であり、胴体全部が鮮やかな赤色、後部は紫がかった暗い赤色を呈す。卵は、赤色で卵柄を有する (図 2)。
- b) 沖縄県では周年発生し、主として硬化した葉の表面を加害する。
- c) マンゴー以外にも、アデモヤ、ゴレンシ、ビワ、レイシ、レンブ等の果樹類、ヤブツバキ、ホルトノキ、モモタマナ、ハンノキ等の樹木類に発生する。

(2) シュレイツメハダニ

- a) 雌成虫は体長 0.6 mm であり、胴体全体が紫がかった赤色を呈す。卵は扁平で色は無色透明～赤色まで変異に富む (図 3)。
- b) 沖縄県では周年発生し、主として葉表を加害する。新葉および硬化葉のいずれも加害する。
- c) 農作物以外では、主としてイルカンダ、タイワンクズ、デイゴ、ソシンカ等に発生する。

(3) 被害

- a) 被害部は、葉がかすり状に白化・退色し、後に褐変して光沢を失う (図 4)。

- b) 葉の被害が多発すると、光合成量の低下により樹勢の衰えを招き、収量・品質への影響が懸念される。

6 防除上注意すべき事項

- (1) 側窓、出入口などの開放は必要最小限にする。
- (2) 定期的に葉表を観察し、早期発見に努める。
- (3) かすり状の食害痕を見つけたら登録薬剤による防除を行う。
- (4) 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
- (5) 冬季はマシン油乳剤による防除が効果的である。本薬剤は天敵に影響が少なく、天敵を保護しながらの防除が期待できる。



図 2. マンゴーツメハダニの雌成虫と卵



図 3. シュレイツメハダニの雌成虫と卵



図 4. 被害葉

★詳しくは沖縄県病虫害防除技術センターにお問い合わせ下さい★

TEL : (本所) 098-886-3880、(宮古駐在) 0980-73-2634、(八重山駐在) 0980-82-4933

ホームページアドレス : <https://www.pref.okinawa.jp/shigoto/nogyo/1010700/index.html>

